

PTA活動紹介		高P連受付番号	
PTA(学校)名	愛知県立新川高等学校	部門	ノンジャンル
活動テーマ	文化祭を一緒に！		
キーワード	絆(PTAの絆、親子の絆)	バトンを受け継ぐ	緊密なコミュニケーション
開催日	平成28年9月7日(水)、8日(木)		
場所	新川高等学校社会科教室		
時間	7日(水)午後、8日(木)終日		
参加者	全校生徒 954名、学校評議員4名、保護者延べ345名、卒業生多数		
趣旨	生徒が主体となり、創意工夫を凝らして創り上げる文化祭に、PTAも充実した内容の企画を計画し、参加することで、生徒と一体になって学校行事を盛り上げています。生徒たちもとても楽しみにしており、日頃は、なかなか素直に感謝の気持ちなどが伝えにくい年代の生徒たちも、お母さん、お父さんたちと心を通わせる和やかな憩いの時間と空間になっています。		
活動ポイント	PTAと生徒が一体となって学校行事を創り上げる。		
主体委員会名・講師名等	新川高等学校PTA役員会・委員会		



昨年度は、創立30周年を記念して作成した新川キャラクター「わかば丸」(27回生の作品)の原画をもとにお揃いのTシャツをつくり、全員で着用して当日に臨みました。また、「わかば丸」の手づくりマスコットやボードもお母さんたちの作品です。PTAの皆さんも、30周年をこうした形で盛り上げてくれました。当日は大盛況でした。前年の文化祭が終わると3年生の役員さんは反省会をもち、2年生の役員さんへ引き継ぎます。バトンを受け継いだ2年生のみなさんは、伝統となっているノウハウを守りながらその学年のカラーを打ち出していきます。



PTA役員会、総会、体育祭(6月実施)、PTA研修会、高P連全国大会(千葉大会)など、集まれる機会をフルに生かし、また「ライン」もフルに活躍し、計画を練っていきました。今年も、お揃いの新川キャラクター「わかば丸」エプロンを付けて気持ちを一つにしました。販売するパンの一部をNPO法人わっぱの会の国産小麦・無添加の「わっぱん」にお願いしました。安心して食べられる美味しいパンで好評でした。さらに、地元清須市のパン屋さん「パン・ド・クエット」にも協力してもらいました。バザーも例年以上に商品が集まり、お母さんらしい「パンプス」や「バッグ」も並びました。約50名のPTA役員・委員さんたちの絶好のコミュニケーションの場となっており、お互いの子育てや進路の悩みなどを共有し、絆が深まっています。

【今後に向けて】
PTA主催の「カフェ・ド・ママ」は、実施後にアンケートをとり、忌憚のない意見や指摘を集約しています。それを基に、過剰な負担にならず、よりよいものになるよう検討を重ね、準備をしています。来店する生徒さんは、「知らないおばさん」が話しかけても笑顔で応じてくれ、とても温かい気持ちになります。また、PTAの皆さんも初めてお話しの方もたくさんいますが、お揃いのエプロンで団結し、協力し合うことができます。生徒たちの文化祭にかけるパワーもすごいですが、「おばさんパワー」も負けていません。高校生に戻ったように楽しい時間を過ごすことができます。今後も、負担が大きくならないよう工夫しながら、楽しい企画に成長させていきたいです。

【経緯】
県内最後の新設校だった本校は昨年創立30周年を迎えました。創立当初は教師主導の「体育大会・文化的行事」でしたが、生徒の主体的な活動も年々充実し、「新川祭」と名称も変わり、生徒が中心となって行事を創り、盛り上げるようになってきました。そんな中、9月上旬のまだ暑い時期に行われる文化祭に、「子どもの活躍を見ようと来校される保護者の方がほっと一息つける空間があるといいのでは？」ということから、PTA役員の発案で「カフェ・ド・ママ(お母さんたちのカフェ)」を企画し、文化祭に参加するようになりました。その企画は実に本格的なカフェとバザーで、生徒の食品バザーもタジタジです。本校生徒はもちろん、交流の一環として本校文化祭に全員で来てくれる名古屋特別支援学校高等部の生徒さんも楽しみにしており、来校される保護者の方にも大評判です。企画の収益は学校生徒会へ還元してくれています。今では、本校の文化祭に欠かせない存在となっています。

何かPTAも文化祭に参加できない

まだまだ暑い、生徒の熱気でムンムンだから、冷たいものでもあったらいいよね

こんな思いが見事実現しました！！

メニューは、毎年、前年度の売れ行きや人気商品を参考に考えます。仕入れ代金と満足度、衛生面などいろいろ考えて決めています。ケーキ、パン、ジュース、お茶などです。やはり、ケーキは大人気ですぐに完売です。バザーはPTA、教職員に呼びかけて家にあるもので不要なものを持ってきてもらっています。